

# 取扱説明書

フォークリフト用液取出弁

FL-89

目 次		ページ
1.	概 要	..... 2
2.	製品名	..... 2
3.	使用範囲	..... 2
4.	構造と特長	..... 3
5.	運搬および保管	..... 3
6.	取り付け方法	..... 4
7.	使用上の注意	..... 5
8.	点検および保守	..... 5
9.	アフターサービス	..... 5
10.	構造図	..... 6

## はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。  
本取扱説明書を良くお読みになり、内容を理解された上で本機器をご使用下さいますようお願い致します。  
また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧め致します。

### 1. 概要

このバルブは、フォークリフト用液取出弁として製作されております。

### 2. 製品名

品名： フォークリフト用液取出弁  
型式： FL-89  
図面番号： B-18068-01

### 3. 使用範囲

取付時には、必ず次の仕様を確認の上ご使用下さい。

- (1) 使用流体                   ..... LPG(液)
- (2) 耐圧試験圧力           ..... 3.0 MPa
- (3) 気密試験圧力           ..... 1.8 MPa
- (4) 接続仕様                 ..... JIS B 8245 に適合
  - ① 入口(容器取付側): W20.0 山 14 テーパー 3/26 (V<sub>i</sub>相当、ただしネジ長さのみ異なる)
  - ② 出口: W22.5 山 14 左(POL 雌ねじ)
- (5) EFV 作動性能
  - ① 閉止差圧:               0.06MPa 以下(加振時)
  - ② 閉止流量(水):         2~7L/min(加振時)
  - ③ 閉止後漏れ量:       0.4MPa 加圧時漏れ無し(加振条件: 2000cpm で、上下振幅 2mm)
- (6) 本体材質                 ..... C3771B

### 注意

これは標準仕様です。使用範囲が本仕様と異なる場合は、ご注文成約時の図面に記載されている仕様及び製品の検査成績表の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認した上でご使用下さい。

#### 4. 構造と特長

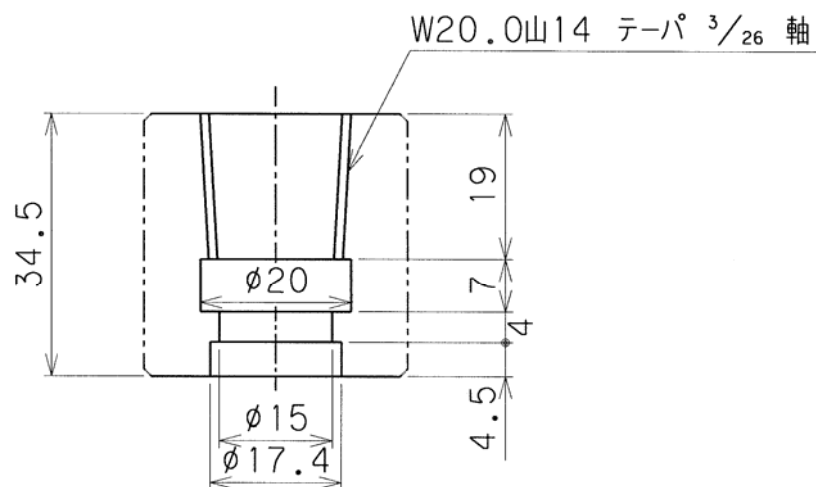
- (1) このバルブには EFV(過流防止弁)が装着されており、LPG 使用中に、ホースが外れるなどの事故が発生した時、LPG が大量に流出するのを防止します。
- (2) ハンドルの開閉方向は、ハンドルにも表示しておりますが、左回しで「開」、右回しで「閉」となります。
- (3) グランド部は、O-リングを二重にし、外部への漏れを防止しております。

#### 5. 運搬および保管

- (1) バルブを落とす、倒す、投げる、引きずる等の乱暴な取り扱いで、強い衝撃を与えないで下さい。漏れ、故障の原因となります。
- (2) 運搬及び保管は、荷姿のまま、ゴミ、ほこり、雨等がかからないようにして下さい。

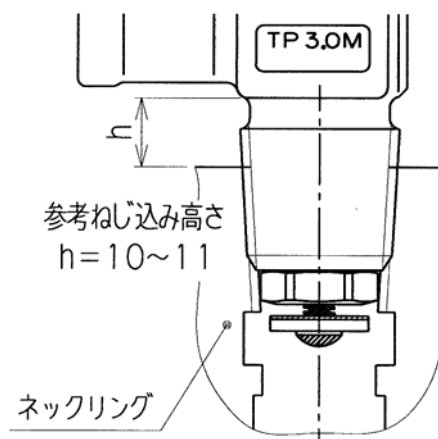
## 6. 取付要領

- (1) EFV の作動性能確保のため、ネックリングは下図の寸法相当品をご使用ください。



適合ネックリング寸法

- (2) ネックリングのバルブ取付ネジ部、ならびにバルブの容器取付ネジ部を清掃してください。特に、ネジ部に傷、打痕などがある場合は、ネジのかじりやガス漏れの原因となります。
- (3) ネジ部には耐LPG性シーリング剤を塗布してください。
- (4) バルブの取付には適正なスパナを用い、バルブのスパナ掛け部に正しくスパナを掛けて締め付けを行ってください。
- (5) ネックリングへのバルブの締め付けトルクは  $100\text{N}\cdot\text{m} \sim 200\text{N}\cdot\text{m}$  としてください。過大な締め付けは、バルブの損傷、EFV 作動不良の原因となります。また、ネックリングへのバルブのねじ込み高さは  $10 \sim 11\text{mm}$  が適正です。ねじ込み高さが大きく異なるときは、ネックリング及びバルブのネジ寸法等を点検し、異常のあるものは使用しないでください。



## 7. 使用上の注意

- (1) ハンドルの開閉は必ず手で行ってください。過大なトルクでの開閉は破損、機能低下の原因となりますので避けてください。
- (2) バルブは必ず全開で使用してください。中間開度で使用すると、EFV が十分に機能しません。
- (3) バルブを開ける際、バルブ出口側(二次側)の圧力が低い場合はバルブを約半開転開け、均圧化を行った後、全開としてください。
- (4) EFV が作動した場合は、下記の手順で復帰操作を行ってください。
  - ① バルブを一旦全閉にする。
  - ② 二次側の漏れを止める。
  - ③ バルブを約半開転開けて均圧化を行った後、全開にする。

## 8. 点検および保守

設備の運転開始時、運転終了時、および運転中に以下のような点検を行なって下さい。

- (1) 外部漏れがあった場合は、新品と交換してください。
- (2) ハンドルの開閉が円滑に行えるかを点検し、異常がある場合は新品と交換してください。

その他、高圧ガス保安法の管轄下で使用されるバルブは、法規上の規定に基づき検査を実施して下さい。

## 9. アフターサービスについて

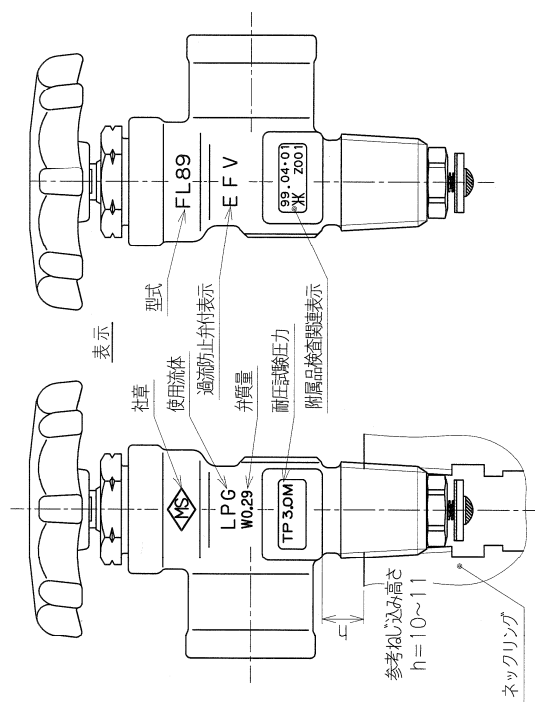
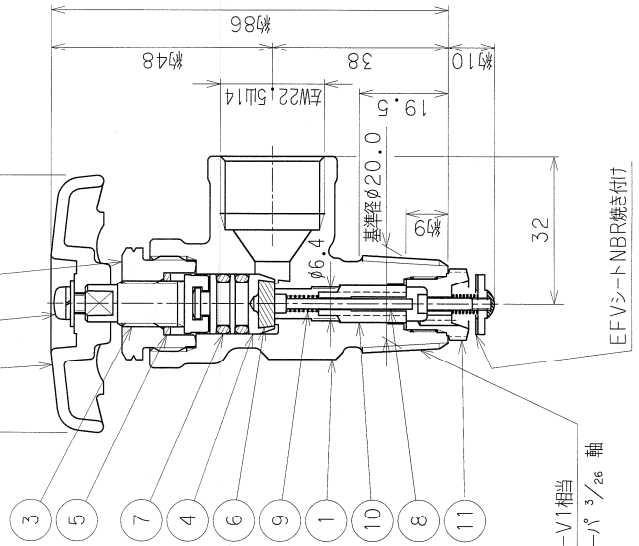
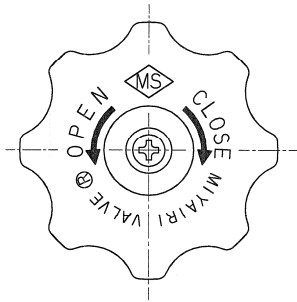
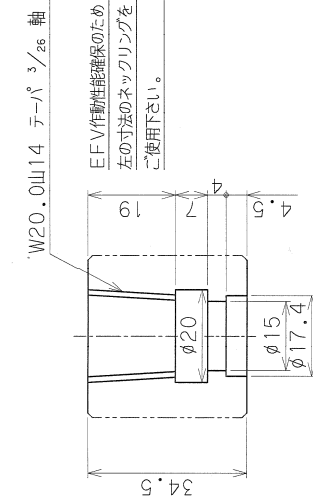
- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせ下さい。

※型式・サイズ・図面番号等をお知らせ下さい。

# 10. 構造図

適合ネックリング寸法



JIS B 8245-V1相当  
W20.0山・4 テーパー 3/26 軸

No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS
13	セットスクリュウ	SWRCH10R	1	
12	ハンドル	ADC12	1	塗色:赤
11	エクステローパッド	C3604B	1set	シート:NBR
10	ガイド	ポリアセタール樹脂	1	
9	スプリング	SUS304	1	
8	押しピン	C3604B	1	
7	O-リング	NBR	2	
6	シートパッキン	ナイロン	1	
5	バックパッキン	ナイロン	1	
4	バルブステム	C3604B	1	
3	スピンドル	C3604B	1	
2	グランドナット	C3604B	1	
1	ボデー	C3771B	1	

SUBJECT  
フオークリフト用液取出弁  
FL-89  
EFV完全閉止型

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(Tel) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲 府 工 場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(Tel) 055-285-0111	(Fax) 055-285-3284
札幌営業所	(Tel) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(Tel) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(Tel) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(Tel) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(Tel) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(Tel) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984